

応募
方法

1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1 白石市総務課へ。はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。(koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

やる気応援事業補助金活用団体

芸能ボランティア白石

出演依頼や一緒に活動したい方は「芸能ボランティア白石」(会長 佐藤 弘 ☎24-5793) まで

市民文芸

歌壇

岩崎 聰之介 選

炭窯に新かさねゆく夫婦居り里山の二月沢
かきとこ 後藤今朝雄
おだやかに暮らさるる今かへりみれば苦渋も
ありし傘寿とはなる 八嶋 正子
待つ私待たせるあなた次回こそ待たそうと思
い今日もまた待つ 村上 英俊
支えられて心の傷のかさぶたが自然に剥がれ
る時いつか来る 遠藤 行夫
北風に耐えて淡雪載する柿 来年のみのり願
いて仰ぐ 日下由美子
凍結の駅前通り人々はベンギンのようにヨチ
ヨチ歩く 佐藤 啓子
ヨチが度量弁えもせず突き進むまっすぐだつた
二十歳の頃は 斎藤 典子
八十路坂のぼりつむれば残るみち歩みゆるゆ
る往かんと思う 荒木喜代子
大寒波しはれる夜はふるさとの亡き母恩ぶ湯
たんぼ抱きて 山田 濱
あたたかき軒下をみるチューリップよるこび
の顔そつと出だしをり 高子たちばあ
評 一首目、雪もあるだろうに、既に働き始
めた人たちを、静かに写しとっている。
二首目、結句の詠嘆が生きて、おのずと作
者の感慨が伝わってくる。四句目で切れるが、
自然な流れだ。
三首目、内容というよりは、同音の繰り返
しによるリズム感の面白さ。

俳壇

遠藤 秋尾 選

くつきりと蔵王連峰鳥啼る 岩松 隆志
青い眼の鬼悠悠春の雲 制野 リエ



上) 不忘園で芸能を披露する「芸能ボランティア白石」の皆さん(平成23年12月7日)
左) フラダンスの部の皆さん。フラダンスに限らず、さまざまな踊りに挑戦しています

早春の日差しと共に歩きけり 岩澤 伍峯
春立つや青空を行く白い雲 高子たちばあ
板扉に猫の背伸びや日脚伸ぶ 寺崎 悦子
老海女や明日につなげる若布干し 斎藤 典子
バリバリと凍てつく道を歩く人 遠藤 舞
地震かと紛う轟音屋根雪崩 阿部はぎの
豆まきて元氣になるよと子にメール 大庭美智子
一面の雪に足跡どこのネコ 佐藤 啓子
評 一句目、珍しく晴れた蔵王の峯、帰りゆ
く白鳥か。
二句目、鬼の目の色と春の雲の取り合わせ
が、鬼の動きまでも見えてくる句。
三句目、早春の日差しの中を散歩する春の
喜び溢れる一句。
世の移り変わり川柳映し出す 大庭 良子
猛暑日を思い出している氷点下 佐藤 啓子
寝て食べて気がつき見ればはや米寿 高子たちばあ
苦も楽も家族で編んでゆく絆 草野 清
自販機へ頭を下げてつり貫う 遠藤 行夫
大寒の目覚まし抱えまた寝込み 斎藤 典子
親も子も髪なびかせて寒立馬 寺崎 悦子
春立ちて日脚の伸びを確かめる 阿部みさ子
住所録永久居住地無き被災 阿部はぎの
洗濯して氷のワックス光つてる 木村 貞雄
評 一句目、歌は世に連れ世は歌に連れと言
うが、川柳もまた世相を映すバロメーター。
二句目、異常寒波が続く今年の冬。雪と寒
さに悲鳴が上がる。これが温暖化の地球か。
気まぐれな天気と人間の非力さを思い知る。
三句目、人生をひたすら歩み、振り返れば
遙かな足跡だけが残る。満ち足りた思いを詠
んだ達観の句。ローマは一日にして成らず。

「芸能ボランティア白石」は、市内の有志の方々が集まり平成21年8月に結成されました。同団体は、福祉施設の慰問や市内のイベントに出演し、さまざまな分野の芸能を披露する「芸能出前活動」を行っています。会員同士の親睦を深めながら、「よりよい芸能を届けたい」と日々練習に励み、毎月のように出前活動を行っています。平成23年度は、法被と花笠のステーション衣装の購入費用に補助金を活用し、新しい芸能が提供できるようにしました。イベントへの出演依頼はもちろぬ、興味のある方や一緒に活動したい方は、気軽にお問い合わせください。
●活動部門…謡曲、民謡、舞踊、歌謡、伴奏、手品、尺八、昔話・紙切師、フラダンス、童謡

コミュニティ(宝くじ)助成事業をご活用ください
財団法人自治総合センターでは、コミュニティの健全な発展と宝くじの社会貢献広報を図るため、自治会などが行うコミュニティ活動に対し助成を行っています。活用を検討される際はご相談ください。
①一般コミュニティ助成事業
自治会での活動で恒常的に活用する備品が対象です。
●助成額 100万円から250万円まで
②コミュニティセンター助成事業
自治会の集会所などの新築が対象です。
●助成額 上限1,500万円
※対象事業費の5分の3以内となります。
③青少年健全育成助成事業
小中学生の健全育成に資するソフト事業が対象です。親子参加型の事業が優先となります。
④自主防災組織育成助成事業
自主防災組織が行う防災活動や被災による被害軽減活動の備品が対象です。
●助成額 30万円から100万円まで
●助成額 20万円から200万円まで
※事業内容により助成額が異なります。

平成24年度白石市地域コミュニティ育成支援(やる気応援)事業補助金の交付団体を募集します
地域づくりに取り組む小規模な市民団体を支援するための補助金です。
●対象団体(次の事項にすべて該当すること)
①恒常的にコミュニティ活動に貢献が期待できる団体
②営利や宗教・政治活動を目的としない団体
③構成員5人以上を有する市内の小規模な団体
④上部組織の傘下でない、組織されて5年未満の団体
※設立5年以上の団体が新たな事業に取り組む場合は、対象となることがあります。
●補助金額 10万円以内(対象事業費の2分の1以内)
●補助期間 原則3年間
●申請期限 平成24年6月22日(金)
※申請書は企画情報課(市役所2階)にあります。市ホームページからもダウンロードできます。

俳壇選者の遠藤秋尾先生が退任され、5月号から選者が変わります
遠藤秋尾先生は、俳誌「蔵王」編集長や宮城県ホトトギス俳句会会長、蔵王句会会長などの要職を務めながら、平成7年2月号から17年間、広報しろいし市民文芸の俳壇選者を務められました。このたび、後継者育成の思いから今月号をもって退任されます。長きにわたり本紙にご尽力いただいたことに、心から御礼申し上げます。なお、後任については5月号でお知らせします。



【退任のごあいさつ】
今は亡き鈴木貞二先生より受け継いだ俳壇選者拝命以来17余年、このたび退任させていただきました。長い間ありがたく感謝申し上げます。

まちの話題 ~あの日、あの時~ Diary

小中学生11人と4団体を顕彰 吉見教育基金顕彰事業顕彰状授与式
スポーツや芸術で顕著な功績を上げた小中学生をたたえる「平成23年度吉見教育基金顕彰事業顕彰状授与式」が3月4日、健康センターで行われました。この基金は平成9年に解散した和洋裁学校「吉見学園」の理事長を務めていた吉見たけさんから「子どもたちの教育に役立ててほしい」と、寄付された現金を基に設立。次の小中学生たちに風間市長から顕彰状が授与されました。
●スポーツ個人 白石第二小 蒲倉麗恵(空手)、大平小 佐久間航大(空手)、大平小 佐久間恵大(空手)、大平小 佐久間将大(空手)
●スポーツ団体 アルバルクキッズ(ドッジボール)代表 佐藤芹奈、東中男子新体操部代表 大槻真平、東中女子新体操部代表 安井佑季

●芸術個人 越河小 村上萌夏(画)、越河小 大野琉聖(画)、越河小 大泉渚生(画)、福岡小 村井杜王(画)、福岡小 武田瑞生(画)、深谷小 新山銀哉(画)、福岡中 大野尚樹(ポスター)
●芸術団体 白石中吹奏楽部代表 菅原聡美
1_県民体育大会空手道競技大会小学5年男子個人組手で優勝した蒲倉くん
2_御礼のあいさつをする大槻くん 3_記念撮影する児童や生徒たち

